

氏名

点数 点/100点

各論演習 21-1

問1)

プリンス社（以下、P社という。）およびシスコム社（以下、S社という。）の当期（×2年4月1日から×3年3月31日まで）における個別財務諸表は、（資料1）のとおりである。（資料2）の連結に関する事項にもとづいて、連結財務諸表を完成しなさい。

（資料1）個別財務諸表

貸借対照表
×3年3月31日 （単位：円）

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
現金預金	26,604	8,950	支払手形	5,954	7,400
受取手形	45,000	10,500	買掛金	12,430	7,300
売掛金	49,540	24,500	借入金	30,000	20,000
貸倒引当金	△ 1,800	△ 900	未払法人税等	20,000	3,000
有価証券	12,800	-	未払費用	1,100	940
商品	18,600	7,900	資本金	120,000	40,000
貸付金	30,000	-	利益剰余金	97,900	16,300
前払費用	1,480	1,090			
未収収益	400	-			
建物	50,000	40,000			
建物減価償却累計額	△ 7,500	△ 12,000			
備品	20,000	15,000			
備品減価償却累計額	△ 9,000	△ 8,100			
土地	12,400	8,000			
S社株式	38,860	-			
	287,384	94,940		287,384	94,940

損益計算書
自×2年4月1日 至×3年3月31日 （単位：円）

借方科目	P社	S社	貸方科目	P社	S社
売上原価	113,400	50,700	売上高	236,200	85,000
販売費	30,750	7,950	受取利息	600	-
貸倒引当金繰入	1,300	400	受取配当金	2,650	-
一般管理費	52,300	16,600	固定資産売却益	15,000	2,500
減価償却費	4,500	3,750			
支払利息	2,200	600			
法人税等	20,000	3,000			
当期純利益	30,000	4,500			
	254,450	87,500		254,450	87,500

（資料2）連結に関する事項

1. (1) P社は×1年3月31日にS社の発行済株式の70%を取得した。

(2) S社の純資産の推移は次のとおりである

	資本金	利益剰余金
×1年3月31日	40,000円	12,000円
×2年3月31日	40,000円	13,300円

のれんは計上年度の翌年から20年間で均等償却する。

(3) P社およびS社の支払配当は次のとおりである。

P社	×2年6月25日	9,000円
S社	×2年6月25日	1,500円

解1)



連結貸借対照表
×3年3月31日

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金		支払手形	
受取手形		買掛金	
売掛金		借入金	
貸倒引当金		未払法人税等	
有価証券		未払費用	
商品		資本金	
貸付金		利益剰余金	
前払費用		非支配株主持分	
未収収益			
建物			
建物減価償却累計額			
備品			
備品減価償却累計額			
土地			
のれん			

連結損益計算書

自×2年4月1日 至×3年3月31日

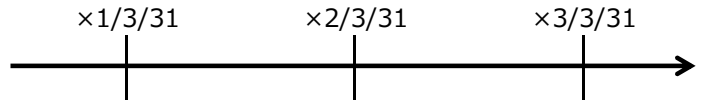
(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額		
売上原価		売上高			
販売費		受取利息			
貸倒引当金繰入		受取配当金			
一般管理費		固定資産売却益			
減価償却費					
のれん償却額					
支払利息					
法人税等					
非支配株主に帰属する当期純利益					
親会社株主に帰属する当期純利益					

連結株主資本等変動計算書
 自×2年4月1日 至×3年3月31日

(単位：円)

	株主資本		非支配株主持分
	資本金	利益剰余金	
当期首残高			
剰余金の配当	-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-		-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	
当期末残高			



開始仕訳

(1) 投資と資本の相殺消去

資本金

利益剰余金

合計

取得持分

取得原価

のれん

	x1/3/31	x2/3/31	x3/3/31
資本金			
利益剰余金	_____	_____	_____
合計			
取得持分			
取得原価	_____		
のれん	-	-	-

期中仕訳

(1) のれんの償却

(2) 子会社当期純利益の非支配株主への振替え

(3) 子会社配当金の修正